

遺伝子の約90%は、人間やマウスと起源が共通だった。人間やマウスとのゲノムと比較することで、哺乳類の進化を探る手掛かりにもなるといふ。

科学

超電導物質の発見によって、「バイロクロア酸化物」という物質で、東大物性研究所の広井善一教授らが発見した構造を持つ物質には、高温で超電導になるものがあるかもしれない」と注目される。

記録10年破れず

最も細いナノチューブ発見

日本とドイツの研究者がこれまで最も細いカーボンナノチューブを発見した。炭素原子が並んで筒のようになつた分子で、筒の直径は1億分の3¹¹。理論的に限界とされた細さより細く、理論の見直しが迫られる。



<2>

研究者らは、炭素電極を放電で蒸発させてつくったナノチューブを分析。筒の中に筒がある多層構造をしており、電子顕微鏡で一番内側の筒の直径を測った。

も発見



署下約80度で保存されている患者のがらん相撲（岡山大病院）

新種の超電導物質を発見

広井教授ら

構造解明の糸口に

超電導物質の発見レースで日本は独走中。最近また新物質が見つかって、東大物性研究所の広井善一教授らが発見した構造を持つ物質には、高温で超電導になるものがあるかもしれない」と注目される。

で見つかった。

たが絶対温度一二五ケルビン（K）という銅酸化物になつてみると、

化物「水銀-1223」の

度近辺でしか見つからず、記録は破られない。

日本とドイツの研究者がこれまで最も細いカーボンナノチューブを発見した。炭素原子が並んで筒のようになつた分子で、筒の直径は1億分の3¹¹。理論的に限界とされた細さより細く、理論の見直しが迫られる。

研究者らは、炭素電極を放電で蒸発させてつくったナノチューブを分析。筒の中に筒がある多層構造をしており、電子

顕微鏡で一番内側の筒の

直径を測った。

直径8・4¹¹の反射鏡

鏡を二つ組み合わせた大

ス・プラズマ研究、イタリアの国

型双眼鏡（LBNL）立宇宙物理研究所などの共同プロ

トの建設が進んでいる。今

エクト。

米アリゾナ州にあるケ

ラハム山国際天文台で、

を開始。来年には、両眼がそろそろ計

画だ。アリゾナ大やドイツのマック

ス・プラズマ研究、イタリアの国

型双眼鏡（LBNL）立宇宙物理研究所などの共同プロ

トの建設が進んでいる。今

エクト。

たまに見つけた。

たまに見つけた。